

医療法人大里会 歯科医師臨床研修プログラム

I 研修プログラムの概要

1. 研修プログラムの名称

医療法人大里会 歯科医師臨床研修プログラム

2. 研修プログラムの特色

～患者の治療を実際に行うプログラム～

医療法人大里会にて12ヶ月研修する単独型研修コースである。

患者の全身的医療を理解し、患者の治療を実際に行う。

すべての歯科医師に求められる基本的な診療能力(態度・技能及び知識)を身に付ける。また、医療人として倫理観を身につけ、患者に信頼され社会に貢献できる歯科医師を目指し、さらに生涯研修へ円滑に移行できるような、道標的な研修を行う。また専門的な医療を見学する。

3. 研修のねらい

- ・歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立する。
- ・全人的な視点から得られた医療情報を精査し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- ・歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身に付ける。
- ・一般的によく遭遇する応急処置と頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- ・歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
- ・自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身につける。
- ・専門的知識や高度先進的医療に基づく歯科医療に目を向け、生涯研修の意欲への動機付けをする。
- ・歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

4. 研修期間

1年間（平成31年4月～平成32年3月）

うち1カ月間(4日程度)稲沢市民病院にて全身管理に係る研修を行う

2カ月間(8日程度)うらさと歯科にて咬合・咀嚼障害の基本的な治療とインプラントOPEの見学など専門的な分野の研修を行う

5. 研修体制

単独型臨床研修施設である 医療法人大里会大里デンタルクリニックでは、研修管理委員長またはプログラム責任者が直接研修歯科医を指導する。

6. 研修協力施設

稲沢市民病院 口腔外科
医療法人大里会 うらさと歯科

研修実施責任者: 口腔外科部長 佐野 大輔
研修実施責任者: 理事長 小川 雅範

7. 研修管理委員会構成

小川 雅範	研修管理委員長 研修実施責任者	医療法人大里会理事長 うらさと歯科
小川 薫	プログラム責任者 指導歯科医	医療法人大里会 大里デンタルクリニック院長
佐藤 玲衣	歯科衛生士主任	医療法人大里会
秋本 香苗	事務部門責任者	医療法人大里会
千賀 勝広	外部委員	岡崎友愛歯科院長
佐野 大輔	研修実施責任者	稲沢市民病院 口腔外科部長



Ⅱ 研修歯科医の募集及び処遇

1. 研修歯科医の募集

- ・定員6名
- ・公募により募集、面接のうえ、マッチングプログラムにより採用者を決定

2. 研修歯科医の処遇

身分	常勤
給与	300,000円/月給
勤務時間	9時30分～19時30分（休憩時間13時～14時30分）
休日	週休2日（その他：夏季休暇、冬期休暇あり）
時間外手当	あり
当直	なし
宿舎・設備	宿舎あり、院内控室及ロッカー一使用可
保険	歯科医師国保・厚生年金・雇用保険
健康管理	健康診断（年1回） 結核健康診断（年1回）
歯科医師賠償責任保険	病院において加入
外部の研修活動	学会、研究会等への参加は認めるが費用は個人負担
白衣の支給	あり

3. 応募・問い合わせ

【問合せ先】 大里デンタルクリニック 0587-24-4184

【見学】 随時受付



修了判定の基準

A	十分なレベルに達した
B	ある程度のレベルに達したが、さらに研鑽が必要
C	指導医等の助言を受けながら必要な処置が実施できる
D	内容は理解しているが、自力で行うことができない
E	理解度、技術的に研修の成果が出なかった
F	実施しなかった

1. ◆基本習熟コース◆

1-1医療面接

一般目標	患者中心の歯科医療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身に付け、実践する			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① コミュニケーションスキルを実践する	1.オスキューで模擬患者を使って練習する 2.実際の患者で指導歯科医が横に付きチェックする	1…5 2…10	1.指導歯科医1名 上級歯科医2名 2.指導歯科医1名 上級歯科医1名	1…A合格しなければ患者を診ることができない 2…A～C
② 病歴(主訴・現病歴・既往歴及び家族歴)聴取を的確に行う	患者との面接で実際に行う 指導歯科医が横に付きチェックし指導する	10	指導歯科医1名 上級歯科医1名	A～C
③ 病歴を正確に記録する	サブカルテに記録し、指導歯科医がチェックし、その後カルテに記録する	10	指導歯科医1名 上級歯科医1名	A～C
④ 患者の心理・社会的背景に配慮する	指導歯科医による講義の後、実際に行う	5	指導歯科医1名 上級歯科医1名	A～C
⑤ 患者・家族に必要な情報を十分に提供する	指導歯科医による講義の後、実際に行う講義の後、患者への説明図を描く練習をし、実際に行う	10	指導歯科医1名 上級歯科医1名	A～C
⑥ 患者の自己決定を尊重する(インフォームドコンセントの構築)	指導歯科医による講義の後、第1から第3までトリートメントプランを構築し、よく話し合い最良のプランへと導く	10	指導医1名 上級歯科医1名	A～C
⑦ 患者のプライバシーを守る	指導歯科医による個人情報の意味、意義について講義の後、実践する	3	指導歯科医1名 上級歯科医1名	A～C
⑧ 患者の心身におけるQOLに配慮する	咬めることを最優先とし、患者の生活面の満足が得られるよう、指導歯科医による講義と実践を行う	3	指導歯科医	A～C
⑨ 患者教育と治療への動機付けを行う	症例写真、治療模型、イラストの活用のトレーニングを行い、実践する	3	指導歯科医	A～C

1-2 総合診療

一般目標	効果的で効率の良い歯科医療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身に付ける			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① 適切で十分な医療情報を収集する	高血圧、糖尿病などの全身疾患と薬剤を理解する	3	指導歯科医1名	AまたはB
② 基本的な診察・検査を実践する	パノラマ撮影、歯周病検査、スタディモデルの印象、口腔内検査を実践する	10	指導歯科医1名 上級歯科医3名	AまたはB
③ 基本的な診察・検査の所見を判断する	上記の検査、診察の所見を判断する	5	指導歯科医1名 上級歯科医3名	AまたはB
④ CT画像の所見を判断し、その他の検査・診察所見と合わせて判断する	CTの読影の講習の後、実際の患者のCTの読影及び総合的診断の練習をする	3	指導歯科医1名	A. B. C
⑤ 得られた情報から診断する	実際の患者を診て指導歯科医と共に診断する	5	指導歯科医1名	AまたはB
⑥ 適切だと思われる治療法及び別の選択肢を提示する	まず指導歯科医を見学する 指導歯科医と治療方針について検討し、患者に提示する	6	指導歯科医1名	AまたはB
⑦ 十分な説明による患者の自己決定を確認する	まず指導歯科医を見学する 患者に十分に説明し、患者の自己決定を確認し、必要があれば話の内容をカルテに記載する	5	指導歯科医1名	AまたはB
⑧ 一口腔単位の治療計画を作成する	スタディモデル、パノラマ、その他の検査、診断所見より、一口腔単位で治療計画を指導歯科医と共に検討する	6	指導歯科医1名	AまたはB

1-3 予防・治療基本技術

一般目標	歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために必要な基本的技術を身に付ける			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① 基本的な予防法の手技を実践する	フッ素、シーラント、ブラッシング指導を行う	3	指導歯科医1名 上級歯科医3名	AまたはB
② 基本的な治療法の手技を実践する	模型を作って形成、根管治療の練習をし、指導歯科医に見せて合格するまで繰り返す	3	指導歯科医1名 上級歯科医3名	AまたはB
③ 治療記録を適切に作成する	講義、テストの後、治療記録を作成する	5	指導歯科医1名 上級歯科医2名	AまたはB
④ 医療記録を管理する	カルテを整理し、所定の場所に戻す	10	指導歯科医1名	A

1-4 応急処置

一般目標	一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① 疼痛に対する基本的な治療を実践する	消炎処置、投薬、咬合調整について講義を受け、実践する	20	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはBまたはC
② 歯牙、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する	講義の後、指導歯科医の治療を見学する	2	指導歯科医1名	AまたはB
③ 歯冠修復物、歯冠補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する	講義の後、実践する	10	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB

1-5高頻度治療

一般目標	一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① う蝕の基本的な治療を実践する	講義、治療見学の後、インレー形成、CR充填を実践する	20	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB
② 歯髄疾患の基本的な治療を実践する	講義、見学の後、抜髄、根管治療、根充を実践する	20	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB
③ 歯周病疾患の基本的な治療を実践する	講義、見学の後、除石、SRP、消炎処置を実践する	30	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB
④ 抜歯の基本的な処置を実践する	講義、見学の後、乳歯抜歯から始め比較的抜歯しやすい永久歯の抜歯を行い、徐々に難度を増していく	20	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB
⑤ 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する	講義、見学の後、咬合調整及び必要な歯科治療を実践する	10	指導医1名 上級歯科医1名	AまたはB

1-6医療管理・地域医療

一般目標	歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① 保険診療を実践する	保険診療や算定の仕方について講義を受け、実践する	10	指導歯科医1名	AまたはB
② チーム医療を実践する	歯科医師と技工士、歯科医師と衛生士、助手、受付とのコミュニケーションを十分にとり、協力し合う	6	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB
③ 地域医療に参画する	市の歯科健診、学校健診、訪問健診について学び、レポート提出及び実際に見学する	1	指導歯科医1名	レポートの提出及び見学1件以上

2. ◆基本習得コース◆

2-1救急処置

一般目標	歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を習得する			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① バイタルサインを観察し、異常を評価する	バイタルサインについての講義の後、模擬患者でバイタルを測定する練習を行う	3	指導医1名 上級歯科医1名	AまたはBまたはC
② 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する	血栓症や骨粗しょう症の薬剤など、歯科診療に副作用をもたらす薬剤について学び、患者に説明する	3	指導医1名 上級歯科医1名	AまたはB
③ 全身疾患の歯科診療のリスクを説明する	講義の後、各患者の全身疾患に応じた歯科診療のリスクと説明をする	3	指導歯科医1名	AまたはB
④ 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する	高血圧、糖尿病、心臓病、脳血管障害など全身疾患	1	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB
⑤ 一次救命処置を実践する	講義の後、模擬患者で胸骨圧迫と人工呼吸のやり方を復習し、AEDの使用方法を学ぶ	1	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB
⑥ 二次救命処置の対処法を説明する	講義及びレポート	1	指導歯科医1名	AまたはB

2-2医療安全・感染予防

一般目標	円滑な歯科診療を実践するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度及び技能を習得する			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① 医療安全対策を説明する	レポート提出の後	1	指導歯科医1名	レポート提出
② アクシデント及びインシデントを説明する	講義、口頭試問	1	指導歯科医1名	口頭試問
③ 医療過誤について説明する	レポート提出の後 講義、口頭試問	1	指導歯科医1名	レポート提出の後 及び口頭試問7割以上
④ 院内感染対策(Standards Precautions)を説明する	レポート提出の後 講義、口頭試問	1	指導歯科医1名	レポート提出の後 及び口頭試問7割以上
⑤ 院内感染対策を実践する	毎日の診療の中で実践する	10	指導歯科医1名	A

2-3経過評価管理

一般目標	自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① リコールシステムの重要性を説明する	一口腔単位の治療が終了した患者に定期健診の重要性を説明する	1	指導歯科医1名	口頭試問
② 医療の結果を評価する	患者通院中には、自ら行った治療に関しては常に予後を観察し、3カ月後のリコール時に診察及び検査する	10	指導歯科医1名 上級歯科医3名	AまたはB
③ 予後を推測する	医療の結果を評価する 治療後に予後の検討会を行う	6	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB

2-4予防・治療技能

一般目標	生涯研修のために必要な専門知識や高度先進的技術を理解する			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① 専門的な分野の情報を収集する	矯正についてレポートする インプラントについてレポートする	6	指導歯科医	レポート
② 専門的な分野を体験する	矯正認定医の矯正治療を見学する インプラントOPEを見学する	10	指導歯科医 上級歯科医	見学

2-5医療管理

一般目標	適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① 歯科医療機関の経営管理を説明できるようにする	講義の後、レポート提出	1	指導歯科医1名	レポート提出
② 常に必要に応じた医療情報の収集を行う	与えられた課題に対してレポート提出	10	指導歯科医1名	レポート提出
③ 適切な放射線管理を実践する	講義の後、実践する	20	指導歯科医1名 上級歯科医1名	AまたはB
④ 医療廃棄物を適切に処理する	講義の後、 毎日の診療で実践する	20	指導歯科医1名 上級歯科医1名	A

2-6地域医療

一般目標	歯科診療を適切に行うために地域医療についての知識、態度及び技能を習得する			
行動目標	研修内容	必要な症例数	指導体制	修了判定の評価基準
① 地域歯科保健活動を説明できるようになる	講義の後、口頭試問	1	指導歯科医1名	口頭試問7割以上
② 歯科訪問診療を見学する	施設または居宅の患者の訪問診療を見学する	1	指導歯科医1名	見学1件以上
③ 医療連携を説明できるようになる	講義の後、口頭試問	1	指導歯科医1名	口頭試問7割以上